

## 『都市の経済学 小テスト No. 5』 (1問1点、19点満点)

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっているので、問題の解答番号に入る数値または選択肢番号を解答用紙（マークシート）に解答すること。

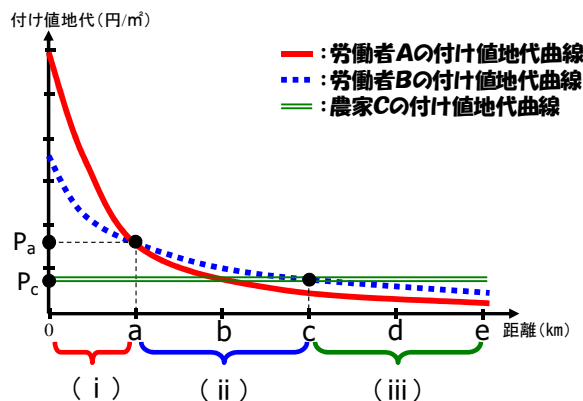
※で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

1. 地主は自分の所有している土地を、一番1 (○**①高く**、○**②安く**、○**③安全に**、○**④危険に**、○**⑤その他**) 借りてくれる人に貸したい。
2. 家計は効用水準を2 (○**①等しく**、○**②変化**、○**③最大化**、○**④最小化**) できるように、予算制約を考慮しつつ、可能な限り3 (○**①安い**、○**②高い**、○**③異なる**、○**④その他**) 地代を提示する。
3. 上記のように、家計が提示する地代を4 (○**①市場地代**、○**②付け値地代**、○**③市場価格**、○**④その他**) と呼ぶ。
4. 予算制約線と無差別曲線の接点は、5 (○**①付け値地代**、○**②可処分所得**、○**③合成財価格**、○**④消費する財の組**) を表す。
5. 通勤に交通費がかかるとき、予算制約線の縦軸の切片は、6 (○**①交通費**、○**②所得の総額**、○**③可処分所得の総額**、○**④合成財価格**、○**⑤付け値地代**) を表す。
6. 土地市場が均衡している状態では、CBD から距離が離れるに従って付け値地代は7 (○**①低くなる**、○**②高くなる**、○**③0になる**、○**④その他**)。また、土地サービスの最適な消費量は8 (○**①小さくなる**、○**②大きくなる**、○**③0になる**、○**④その他**)。これは、同一の無差別曲線に接する予算制約線の接点と傾きの変化を確認することで理解できる。

裏に続く



7. 労働者 A、労働者 B、農家 C の3種類の個人が同一の都市内にいる場合、彼らの付け値地代はそれぞれ図のようになった。この時、区間(i)の土地を借りるのは[9] **①労働者 A、②労働者 B、③農家 C** であり、区間(ii)を借りるのは[10] **①労働者 A、②労働者 B、③農家 C** であり、区間(iii)を借りるのは[11] **①労働者 A、②労働者 B、③農家 C** である。



8. このとき、労働者 B の付け値地代が市場地代となるのは[12] **①区間(i)、②区間(ii)、③区間(iii)、④区間(i)から区間(ii)、⑤区間(ii)から区間(iii)、⑥その他)** である。
9. 労働者 A と労働者 B の違いは所得にあるとしよう。所得の異なる個人が同一の都市内に存在するためには、各労働者が提示する付け値地代曲線が、どこかで交差するような形か、または[13] **①交差することが無い形、②完全に一致する形、③その他)** でなくてはならない。どちらのパターンであるかを確認するためには、地点[14] **①a、②b、③c、④d、⑤e)** と、そこから離れた地点における各労働者の付け値地代を比較することで可能である。なぜなら、各労働者の提示する付け値地代曲線がどこかで交差するような形であるならば、離れた地点における付け値地代は[15] **①同じになる、②異なる、③Pa になる、④その他)** からである。
10. a 地点より中心に近い場所では、[16] **①所得、②交通費、③合成財価格、④市場地代、⑤その他)** が減少することで予算制約線が変化し、労働者 A と労働者 B の付け値地代は[17] **①両者とも下落する、②両者とも上昇する、③一方だけ下落する、④一方だけ上昇する、⑤その他)**。変化後の付け値地代を比較すると、付け値地代がより高いのは[18] **①高所得者、②低所得者、③農家)** なので、高所得者は[19] **①労働者 A、②労働者 B、③農家 C)** である。